



ニューズレター あすか

2014
11月号

通算260号

2014年11月10日

土砂災害から2ヶ月半

多くの人の命を奪い、家や大切な財産を一瞬のうちにのみ込んだ土砂災害が起つて2ヶ月半が経ちました。災害からの日々を振り返ってみたいと思います。

8月20日、緊急車両のサイレンに身体が震え、利用者様やご家族の方々の声を聞くまでの不安な時間を思い出します。自然の猛威に私たちは何をすることもできないと悲しい思いになりました。

避難所生活を余儀なくされた利用者様。環境が一変してもこの現実を乗り越えなければならぬ。皆様の「頑張つていこう!」の思いに、事業所として出来る事は「何があっても安心して過ごしていただける事業所でありたい」の思いでした。避難所から通所への参加、その後の雨で何度も出る避難指示に対し、「いつでも入所出来る」体制を整えました。

2ヶ月を過ぎる頃には通行止めが少しずつ解除され、道路も整備されていくと同時に避難所生活をされている利用者様の環境がまた変わり始めていました。新しい生活か...自宅での生活か...「頑張らんとけん」皆様の

お気持ちに少しずつ「不安や心配」も感じられるようになりました。「なんだか頑張れないのよ」「山を見るたびに胸が苦しくなるよ」「朝、起きると涙が出る」との思いを耳にするようになりました。

職員にも不安な気持ちがありました。被災された利用者様の思いを聞き、「一緒に泣いてもいいんですか?」「頑張ってください」と声をかけてもいいんですか?」と大惨事を体験された利用者様にどんな言葉をかけたらよいのか...。今まで接した事のない私たち職員の未熟さに戸惑い、副院長に相談しました。「頑張ろうはしんどいかもしれない共感し、思いを聞き、「これから一緒に考え、歩いて行く。涙が出ることは決して悪いことではない。その思いを伝えたら良いのでは?」とのアドバイスをもらいました。この言葉で利用者様やご家族の方々とこれから共に歩む」との思いを強く持つ事ができました。

土砂だらけで前に進めなかった町が整備されていく反面、「住み慣れた家」「近所、自然」が

なくなっていく現実胸が苦しくなります。この現実の中で利用者様、「家族様の思いはきつて...」「苦しいけど、大変だけど前に進んでいかないと。思いではないかと感じています。」

私たちに出来ることは「共に歩んでいく」「大変な時こそ、不安な時こそ、私たちに声をかけてください」と心から願っています。今後復旧が進む中、安心してご利用していただける事業所でありたいと思います。

(通所介護事業所)

統括課長 丸澤 立子



【ページ】

【目次】

- 1. 土砂災害から2ヶ月半.....1
- 2. ウエキさんとミドリちゃん.....2
- 3. あすか療養センターの魅力.....3
- 4. 新潟からの贈り物
- 5. 事業所だより(野ばら、まやる).....4
- 事業所だより(しゅりあ、みどりい).....5
- 6. 作品紹介(野ばら)
- 7. おもしろきかな我が人生
~石井 啓司さん~.....6
- 8. わたしの好きなもの 第10回.....7
- 9. 若竹句会 10月作品抄
- 10. Hello, フレッシュマン(4).....8

“ニューズレターあすか”は
当法人のホームページ上でも見るができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：新宅 佳那子)

住所：〒731-0103
広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

ウエキさんとミドリちゃんに 聞いてみよー！！

今月はダイワマンからバトンタッチして、東西建築サービス株式会社とあすかのコラボレーション企画です。主にケアプラザの内装にこだわっていただきました。女性ならではの繊細なコーディネートと、長いお付き合いの中で知ってもらった「あすか色」を表現していただき、素敵なケアプラザが完成しました。毎回大阪から通ってくださっていた、設計監理の植木さんと高松さんに苦労話を伺いました。



大和ハウスさん
山陽空調さんと一緒に

東西建築サービス 設計監理部



設計監理部長
植木 秀典さん



部長代理
高松 美登里さん

Q. 東西建築サービスってどんな会社？

A. いろんな事業をやっています。

三井住友銀行(当時住友銀行)の営繕会社として、日建設計(当時日建設計工務)の枝分かれで昭和30年に設立。銀行の設計・工事監理、営繕工事、ビル設備・清掃メンテナンスの3本柱で業務を行い現在に至ります。医療法人あすか様とは設計監理部およびビルメンテナンス部で長年お世話になっております。設計監理部は、医療・福祉施設、金融店舗、商業施設をはじめ、事務所、共同住宅、工場、専用住宅など幅広い用途の設計・工事監理およびコンサルタント業務を行っています。(植木)

Q. あすかとの出会いは？

A. 大北室長の紹介です。

1999年7月に(あすかの)施設管理室の大北室長(当時東西建築サービス広島営業所



長)の紹介で 院長・副院長と面談させていただき、緑井本院増築工事の設計監理業務を、私が担当させていただくことになりました。プロジェクトチームのスタッフ皆様と綿密な打合せを行ったことを想い出します。(植木)



高松さんこだわりの保育園
かわいいオレンジの天井

Q. 大阪～広島の移動、

大変でしたよね？

A. これくらい近いですよー！！

いえいえ、新幹線で1時間20分。とっても通いやすく通勤圏内です(^v)この一年間は打合せ日だけでなく、毎日、チームの皆様とのお電話・メールが頻繁にありましたので、緑井は隣の駅くらいの感じてました。

(高松)

Q. ケアプラザで一番こだわったポイントは？

A. 幸せを願ったインテリアコーディネートです。

毎日ここで小さな幸せがたくさん生まれますように。との願いを持ってプロジェクトチームに参加させていただきました。インテリアは、今年のトレンドをさりげなく要所に取り入れ、建物のコンセプトを表現できるように何度も見直しました。内装ご提案前日の最終チェックでは、夜中の広島シェラトンホテルでサンプルの束を持って回り、雨の日や夜・早朝の印象を確認するといった、怪しい人に・・・。

広い館内ですので、みなさまそれぞれに、どこかお好きな場所を見つけていただけたら幸せです。(高松)



こだわりのビューティーサロンの字体

Q. ケアプラザが完成してどうですか？

A. みなさまに愛される施設になると思います。

大町駅の駅近でこのような素晴らしい施設の竣工、おめでとうございます。非常に明るく、落ち着いた雰囲気の良い建物と感銘しております。地域の皆様方から愛される施設になると確信しております。施設長を中心としての運用、CS度の高い施設目指して頑張ってください。(植木)

大和ハウス東様のプランニングで、本当に明るく気持ちのよい間取りになっています。未永く、街のみなさまの拠り所となるケアプラザであり続けますように。(高松)



あすかケアプラザの前身『あすか療養センター』を紹介いたします。この建物も東西建築サービスの植木氏、高松氏によるデザインです。

あすか療養センターの魅力

*自然がいっぱいです

あすか療養センターは毘沙門天のすぐ下にあります。参道の急な坂をぶつぶつ言いながら登り、「あともう少しで毘沙門天」といつとどこに位置しています。門をくぐると左右に小さな花壇があり、お客様を迎えてくれます。建物の中に入ると、どの階からも素晴らしい眺望を楽しむことができます。三方を山で囲まれ、眼下には広島市が一望できます。

天気の良い日には遠くにきらきら光る瀬戸内海とそこに浮かぶ島々が見えます。春には霞がかかり、夏には青い空と真っ白い雲、秋には段々畑に稲穂がきらめき、冬には白銀の雪景色と、四季折々の自然を存分に楽しむことができます。

*お散歩を楽しんでいます

利用者様にこの自然を満喫していただくため、気候の良い日には散歩にお誘います。おいしい空気を吸い、自然の景色を見て、鳥のさえずりや風の音を聴き、花や木に触れ、さわやかな小川の匂いを嗅ぎ、五感を刺激する大切な時間をもちょうごができます。

*園芸にも力を入れています

1階のデイサービスには車いすの方でも園芸活動ができるようレイズドベッドの花壇があります。各フロアのプランタでは春はチューリップ、夏は日々草やマリーゴールド、秋にはコメス冬になるとパンジーなどを育てています。

*野の花美術館があります

玄関に入ると大きな絵画が迎えてくれます。姫路の画家、今井恵美子さんの作品です。館内にはいろいろなところに今井さんの絵が飾ってあり、心を和ませてくれます。

このよつな素晴らしい環境に負けないよう、わたしたち職員も利用者様とともに生き、ともに輝く』を心こめて実践しています。あすか療養センター1階が通所リハビリテーション、野の花、2階・3階がショートスパイいわや、4階は療養ショートとなっておりま。

これから寒くなりますが、あすか療養センターの中は暖かく楽しく過ごしていますので、是非見学にいらしてください。

ショートスパイいわや

所長 河原 奈津



玄関の花壇には季節の花が咲いています



シックなデザインとシャンデリアがお客様を迎えてくれます



広島市内が一望できます



こんなにきれいな景色も見れます



館内のいたる所に今井さんの絵が飾られみんなの心を癒してくれます

新潟からの贈り物

まやるちよーくが出来て間もないころ、新潟県三条市の川瀬神経内科クリニックから川瀬弓子事務長が、まやるちよーくに見学に行っていました。まやるちよーくのようなデイサービスを作りたいと熱心に見学されました。その後まもなく三条市に素敵なデイケア「樫の森」が誕生しました。クリニックは町の中にあるにも関わらず人々が憩う森までありました。毎月、使用済みの包装紙で作った温かい封筒でデイケアの活動を伝える「トズター」を届けてくださっています。土砂災害の後、お水やボカリスサトを沢山届けてくださいました。また、とれたてホヤホヤの新米も届きました。

早速、厨房のスタッフが腕によりをかけて、まやるちよーくの利用者様のために、美味しいごはんを作ってくれました。白いごはんにお赤飯、ちらし寿司…。

中でもいちばん美味しかったのはやはり白いごはん!! キラキラと輝くごはんは、とてももちりしていて、ふっくら炊けていて…あつあつホクホクみなさんとびっりの笑顔で、思わずほっぺが落ちそうなくらい、もちろんお赤飯もお寿司も、どれも最高でした。日本に生まれて良かったー!!と思わず言いたくなるくらい美味しかったですね。

川瀬先生、美味しいプレゼントをありがとうございました。

まやるちよーく所長丸澤 立子



ちらし寿司



お赤飯の行楽弁当



美味しくって思わずピース*

シツシツ・コー!! パラ園

10月15日(水)
野ばら

爽やかな青空の中、牛田総合公園内にあるバラ園に行ってきました。心配していた台風も去り、澄み渡った心地よい秋晴れに恵まれました。春と秋に、赤白・黄・オレンジ・ピンクと色とりどりのバラが咲き、利用者様も毎年楽しみにしている恒例の外出です。

レストハウスで美味しいお弁当を食べ、散策開始…。美しいバラの咲いている園内を歩き始めると、「きれいな〜」「まあかわいい〜」など、歓喜の声々。皆様楽しんで見ておられ、写真を撮る時も自然な笑顔になりました。帰路に向かう途中もあまりお疲れの様子もなく、利用者様から「今日は幸せだったよ」と言われたのを聞き、周りの利用者様も職員もその言葉に幸せを感じました。「これからも利用者様に喜んでもらえる外出を企画していきます」と思います。(沖野 淳子)



バラとわたし



きれいなバラでしょ



美味しいお弁当で腹ごしらえ

まやるちよ〜く展示会

10月16日(木)
17日(金)

毎年恒例のまやるちよ〜く作品展は完成したばかりの「あすかケアプラザ」で開催しました。1年間丹精込めて制作した絵画・書道・手芸・パッチワーク・生け花・タイルモザイク・ちぎり絵などの作品や園芸、生け花を展示しました。フロアはゆったりとして広く、作品がいつでも引き立ちました。2日間ですべて150名もの来場者がありました。

「デイでこんな楽しい事をやっているなんて・母が朝早くから準備して迎えを待っているわけた!」とのご家族の声。「ご自分の作品を見つけると思わず駆け寄り、これは私の作品!」「ここに私がうつとる」・・・会場は利用者様、ご家族、職員の笑顔、笑い声でいっぱいでした。(藤澤 聡子)



書道：きれいな字じゃねえ



パッチワークとタイルモザイク



絵画：よお描けとるねえ



職員紹介のボードに
みなさん興味津津

芝辻としきの

中秋独演会

10月11日(土) しゅりあちよーく

古典芸能南京玉簾・仙助流宗家から免許皆伝を受けた芝辻としをさんが、しゅりあちよーくにやってきました。手品・南京玉簾・傘回し・皿回し・指回しなど何でもござれ。とりわけ指でノート・パソコン・座布団などを回す芸にみなさん圧倒されました。最後には布団までクルクル・・・客席からは大きな拍手と歓声が上がりました。

芝辻さんの本業はシステムエンジニアですが、パソコンで「回転の達人」と検索するとヒットします。またいらしてくださいと楽しみにしています。芝辻さんありがとうございました。(松前 里美)



芝辻としをさん



見事な皿回し!!



さては南京玉すだれ~



秋の運動会

10月10日(金) ショートみどりい

10月、スポーツの秋を満喫したいと「秋の運動会」を企画しました。職員全員が色とりどりの仮装をして参加しました。利用者様、職員と一緒に紅白に分かれて熱戦を繰り広げました。

まずは応援合戦!それから競技に入りました。今回の競技は「玉入れ」と「サッカー」です。

熱戦の結果:玉入れは白組、サッカーは紅組の勝ちで勝負は引き分けとなりました。皆様、思いきり力を出し切り、とても良い表情をされていました。日々の生活の中で、笑顔を忘れかけていた利用者様がこの運動会に参加した事によって、「ニコニコ笑顔で歓声をあげて楽しませていました。

最後に職員による余興「飴喰い競争」と利用者様と一緒に「パク喰い競争」をしました。職員が顔じゅう真っ白にして、必死に飴を探す姿を見て一同大爆笑!!パク喰い競争では、皆様パクを早く取りたくてついつい手が...笑。笑顔があふれ、大いに盛り上がった運動会でした。梁しかつたよ!」次の運動会が楽しみじゃねえ」またやりたいね!」との声をいただき、とても嬉しかったです。次回の運動会も楽しく出来るよう、頑張りたいと思います。(下村 真由美)



大きなお口であ~ん!



狙いを定めて~



素敵な作品をご紹介します!

作品介绍

野ばら

クレヨン画、始めました!

いつでも利用者様が手に取れる場所にクレヨンとスケッチブックがあり、この作品を描かれた片桐豊彦様は、少しの時間でさらさらっと仕上げています。



壁画を元に描きました



野ばらから見える風景



写真とそっくり





いしい けいじ
石井 啓司さん

昭和3年11月8日生まれ(86歳)

- * お住まい：安佐南区緑井
- * 趣味：岩谷の歴史を調べること



おもしろきかな我が人生



八木小学校
卒業アルバムより

夢多き青年時代 そして教員の道

私は、お世話になっている毘沙門ケリニックの地元、岩谷(旧緑井村字名)で長男として生まれ育ち今月、11月で86歳になりました。

少年時代は戦時であり中学生の時、学徒動員で観音三菱工場で船舶の部品を作る作業をしていました。8月6日朝、原爆にて被爆しましたが、室内の作業で運よく鉄板の下に入り込み一命を取り留めました。

中学校を卒業後、得意の短距離走駅伝に出場したり、鉄棒(大車輪)などもつと技能を伸ばしたいと、現・日本体育大への進学を望みましたが、長男であり戦後間もない頃(食糧事情悪き時)で東京にも出られませんでした。また、アメリカに叔母が居たので留学したく、神戸の領事館まで手続きをしに行ったこともあります。今考えると、元気の良い夢多き青年でした。

結局、女学校の教員であった父方の叔父の勧めで広島大学広島師範学校本科に入学。卒業し、小学校の教員として教育活動に携わってきました。

若い時は、安佐地区のバレーボール大会出場に向けて大声を上げながら子どもたちと猛練習したこと、また、児童集会などの催し会では、ポケットから小モロを取り出して吹いたり、

その場を盛り上げるために口笛で得意のつぐいすの鳴き声を聞かせたりして子どもたちが喜んでくれたりと本当に楽しい教員生活でした。

今では、還暦、古希を迎える教え子からクラス会の案内をもらい、嬉しく感謝することです。

毘沙門天の総代としても尽力

教員の傍ら、地域の先祖伝来の歴史を受け継ぐことにも力を入れました。

お正月、毘沙門天祭には、総代としてもお手伝いをしました。毘沙門天の歴史調査をし、子どもたちに話し聞かせること、秋祭りに神社での子ども十二神祇の神楽の舞いの伝承、保存に取り組み、地域の方々と共に子どもたちの指導にあたってきました。今後の発展を祈るのみです。

地元で生活すること、私の生きがい

家内とは60年前、当時のクラスの父兄の紹介で出会いました。同業の家内と家庭を持ち、2人の息子に恵まれ、今では孫2人、曾孫1人と家族も安泰です。県外に居住している曾孫(今年1月生まれ)の日々可愛く育つ姿を写真で毎日見ている喜び、生きがいの一つとして幸せを感じながら過ごしています。生まれ育ってきた地元で老後を楽しく生活できることは最高です。



曾孫 重也くんと



平成19年5月 奥様と世羅高原にて

つぐいすの鳴き声に違いや意味があると言つ石井様は、つぐいすの鳴き声に関して調査をして談義を書面に残しておられます。知っていることは出来るだけみんなに教えていきたいと資料と共に色々お話を下さいます。これから山野の花に来てたくさん教えて下さいね。

(森原 幸代)

わたしの好きなもの 第十回



サザン大好きー!!!!
おおしも 野の花 大下 ひろみさん
【サザンオールスターズ】

「サザンは昔っから好きで、桑田佳祐は歌が上手いし、しゃべりも上手じゃしね! どういつとこころが好きか? 別にかっこよくはないけど、顔は関係ないんよ(笑) あの人は全部が魅力じゃね!」とバンドのリーダーでもありボーカルの桑田佳祐さんを大絶賛!!

「遠く〜遠く〜 つつ歌つ... 『希望の轍』もええし、『LOVE AFFAIR』秘密のデート」って言うて、不倫の歌なんじゃけどすごい流行ったよ! どれも好きじゃけど、やっぱり一番好きなのは『真夏の果実』と『いつの日のうー』じゃね!」

また、『真夏の果実』の曲を『四六時中も好きと言って』と歌うところを『四六二十四』と替え歌

にし、利用者様や職員を笑わせてくれます!
「おもしろおかしく歌うのが好きなんだよ」と大下さんの周りではいつも笑顔の花が咲きます



サザンオールスターズ



職員ともこんなに仲良し

「サザンの曲が流れると、全部と言っているほど歌える大下さん。野の花でもサザンの曲が流れると腰痛も忘れ、歌いながら作業がはかどります。これからもおもしろい替え歌を野の花のみんなで作って楽しんでいきますね!」(森原 幸代)

若竹句会 十月作品抄 信廣高陽選 (平成二六年)

蜻蛉追う 子どもの声が なつかしや
石原 守恒
〔守評〕 翅(はね)を左右にピンと張ったまま飛ぶ様は、すきりと勇ましく、速力も昆虫界では最高のほつである。幼虫は水中にすみ、ヤゴと呼ばれ、成虫とともに害虫を捕食するので益虫(えんきちゅう)とされる。

山上に 明るく見える 盆おどり
石原 守恒
〔守評〕 盂蘭盆(うらぼん)の前後に老若男女が多数集まって踊る踊り。この句は高所に所在する小学校の校庭ではないでしょうか。立ち木の合間から洩れる提灯の灯かり。檜(やぐら)の上でたたく太鼓の音も聞こえてきます。

大災害 かき消していたい 友の名を
西 トシ子
〔守評〕 八月二十日、安佐南区・安佐北区を襲った大土砂災害。作者の友人の方が犠牲になられた由、心から哀悼の意を表します。

初孫の 初里帰り 虫の声
西 富枝
〔守評〕 初孫の初、初里帰りの初。リフレインを効かした佳句です。俳句には同じ言葉を二度使うことにより、かえってゆたかりとした世界を展開することができます。リフレイン、畳み句といえます。

秋空を 被災地に急ぐ 介コブタイ
松村キミエ
〔守評〕 秋の澄み切った空の気流ははげしくて、来る雲、ゆく雲をしきりにながしてゆく。気流がはげしい故に、秋の空は澄んで塵をとどめないのかもしれない。

青い空 稲刈る園児 喜々として
松村キミエ
〔守評〕 総合学習の一環として稲刈りの実習での賑わいが見られる時季です。青い空の下、年中行事として定着しています。

にぎやかに 過ぎゆく夜は 秋祭
河野 一枝
〔守評〕 平素は静かな小高い森に鎮座します氏神様の境内も、煙火をあげてお参りを熾ります。これが年を重ねると石段や人ごみが苦になつて、老人に石の連なる秋祭「になるんですね」。

選者 吟
平和ミサ 賛美歌に和す 蝉しぐれ
信廣 高陽



4月にあすかに仲間入りした、新入職員のご紹介をいたします。

Q. この職種を選んだのは?

A. 私の祖母が介護を必要となったことがきっかけで介護職に関心を持ちました。また、その現場を目の当たりにし、何か人のためになる仕事をしたいと思い選びました。

Q. 仕事を通じて何か新しい発見はありましたか?

A. 利用者様に「ありがとう」と言ってもらえることが増え、入社した当初よりも利用者様とコミュニケーションを多くとれるようになりました。

Q. 現場で心がけていることは何ですか?

A. 確認作業を怠らないことです。利用者様に安心して過ごして頂くためにも自分の業務に責任を持ち、努めています。

Q. かかせない「仕事道具」を教えてください

A. 3色ペンとメモ帳です。気付いたことを書くため、職員間で情報共有のためにもかかせません。

ショートステイいわや 4F

おかだ あきら
介護職 岡田 彬さん



Q. 部署の雰囲気や先輩方のフォローなどはどうですか?

A. とても優しく、丁寧に指導してくださり、よく相談にもなっていていただいています。また、先輩方の体験談を聞き、それを自分に置き換えて考えることで仕事の幅も広がりました。

Q. これからの抱負をどうぞ

A. まだまだ未熟ですが、これからより多くの経験を積みながら、信頼される職員になれるよう頑張っていきます。

いつも優しく利用者様に笑顔で接することのできる岡田くん。どんなことでも「僕やります。やらせてください。」と挑戦しようとする頼もしい新人です。今では岡田くんはなくてはならない存在です。

(篠原 舞)



~ 医療法人あすかの経営理念 ~

『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



【編集者のつぶやき】
 ハワインパーティーに参加してきました。遅れての参加でしたが、入った途端後ずさり笑。ソビにバットマンの悪役ジョーカー、アザだらけの看護師もいれば、かわいさずきんちゃんや、魔女の毛急便のキキも、さらには顔がマクデ全く見えな赤レンジャーに、今流行りの朱美ちゃんまで笑。みんな気合いの入ったハワインパーティーでした。

あすかケアプラザ 中須1丁目26・12
 ヘルパーステーション あすか大町
 デイサービスセンター あすか大町
 ショートステイ あすか大町
 レジデンスあすか
 あおぞら保育園

あすか療養センター 緑井3丁目40・30
 毘沙門クリニック
 ショートステイ いわや
 通所リハビリテーション 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30
 毘沙門台東1丁目24・16
 デイサービスセンター しゅりあちよーく
 デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院
 デイサービスセンター まやるちよーく
 通所リハビリテーション すてつが
 ショートステイ みどりい
 小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25
 緑井3丁目10・28
 児童デイサービス ぱるびしゃもん

緑井3丁目20・1
 あすか居宅介護支援事業所
 082・830・5177
 リハビリデイ・ポシブルみどりい
 あすか病児保育室
 児童デイサービス ぱるみどりい

医療法人あすかの医療・介護関連施設